

日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなる

15年10月15日
第200号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(部内資料)

「戦争法廃止」の政府を！ 新たな闘い始まる！

2000万人署名へ 野党の共闘に若者も期待

9月19日に安倍自公政権は世論に背いて、強行に「安保法(戦争法)」を成立させました。しかし、憲法違反である「戦争法廃止」の運動に、多くの国民が主権者として立ち上がるという、歴史的な闘いをしました。今後は「戦争法廃止」の闘いになります。

危険な交差点に信号付いた

市民の願いが実現

前号の植田和子メールの中でお知らせしました、江戸川台西の三角公園の交差点に信号が付きました。東深井市野谷線が全線開通して、3年8ヶ月経ち、交通量も増えてきていたので一安心となりました。

「国民連合政府」提案と
第18回植田和子議会報告会
11月11日(水) 午後2時から4時
場所 江戸川台東自治会館 ホール
お気軽に お誘い合わせておいでください。
い。みなさんと一緒に 国政・市政など語り合いませんか？
入場は無料です

開通当初から「事故が多発して、とても危険な交差点だ」と心配される市民の方が、本当にたくさんいました。植田市議も市や警察に対応を求めてきま



した。流山市議会の中でも、党派を越えて取り組んできました。「市民が主人公」の言葉通り、その結果で、市と警察を動かしています。

市民の安全第一の声から、9月議会の一般質問の中でも植田議員は「生活道路の充実」を取り上げています。

かしました。市民の安全第一の声から、9月議会の一般質問の中でも植田議員は「生活道路の充実」を取り上げています。

最終日、日本共産党が提出した意見書5本中、3本が採択されたという嬉しいお知らせをします。

植田和子です。私が見てきた。国会決議の遵守を求める意見書、19:8で可決。反対は流政会8人。

9月議会 傍聴記
生活道路の充実や
低空飛行訓練に対処は
植田議員はまず初めに「生活道路」の充実を最優先して取り組んでほしいという観点から質問しました。平成26年度に道路の苦情は488件あったという答弁がありました。その中で386カ所を補修したそうです。

公務は、政務活動費の経理責任者会議、予算要望の市長懇談会、議員研修、委員会視察、と次々入るため、全く気が休まらない状態です。

「ウソは大きいほい」といふ。愚かな大衆は騙される。などともいわれる。「ウソも百回言えは本当になる」とはナチスの宣伝相の言葉だともいわれる。

安倍首相は内閣を改造後記者会見し「新・三本の矢」(強い経済、子育て支援、社会保障)を打ち出した。前の3本の矢が行き詰り、景気低迷、戦争法強行採決、TPP推進と国民の願いに逆らった政治を行うことが政権の強さの証だとも言わんばかり▼ウソにウソを重ねるそのありさまはヒットラーにますます似てきた。「大衆は小さな嘘より、大きな嘘の犠牲になりやすい」とはあのナチスのヒットラーの言葉。

再稼働やめ!! 原発から撤退

再稼働やめ!! 原発から撤退